

SAMSON®

CONCERT^{88x}

取扱説明書 Ver.1.00



主な機能

ワイヤレスレシーバー

- ・ 耐電波障害に優れた、チャンネル切り替えが可能なシステム
- ・ 同時使用可能数6波
- ・ トーンキーとミュート回路でドロップアウト時のノイズをミュート
- ・ 赤外線によって送信機と受信機のチャンネルリンク機能
- ・ バランスXLR出力と1/4"アンバランス出力

ベルトパック・トランスミッター

- ・ 単三電池2本で最大8時間動作可能
- ・ ミュートスイッチ付で、手元でミュートが可能

ハンドヘルド・トランスミッター

- ・ 単一指向性、ダイナミック型カプセルを搭載
- ・ ボーカルやプレゼン、講演などに最適
- ・ 単三電池2本で最大8時間動作可能



感電の危険性があります。カバーを開けないでください。



製品内の電圧により、感電の危険性があります。



安全にご使用いただくために、マニュアルの指示に従ってください。

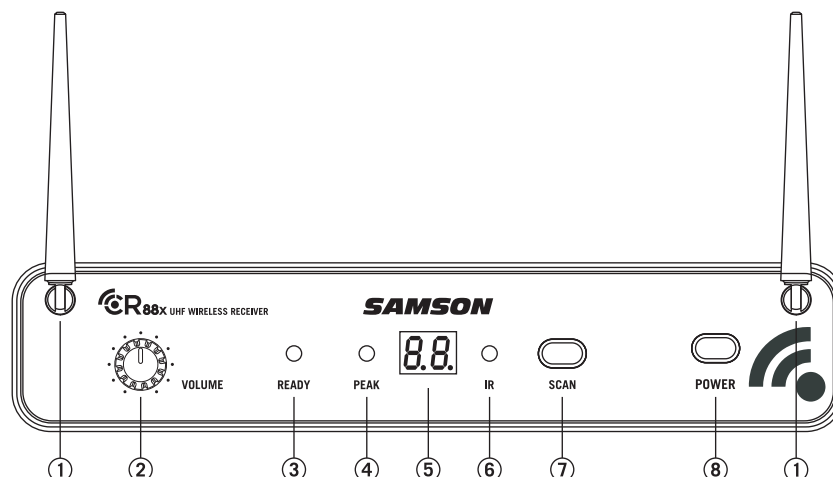
安全上の重要事項

1. 本マニュアルに記載されている全ての警告と指示に従ってください。
2. 本機を水の近くで使用しないでください。
3. 本機を水または液体の中にいれないでください。
4. 本機に直接エアゾールスプレー、クリーナー、消毒剤や殺虫剤を使用しないでください。
5. お手入れは乾いた布で拭いてください。
6. 本機の通気口をふさがないように、マニュアルの指示に従って設置してください。
7. 熱源（ラジエーター、ストーブ、アンプ）などの近くに設置しないでください。
8. 製品受領時に外部に損傷（電源ケーブル等を含む）が無いことを確認してください。もし製品にダメージがあった場合、ただちに販売店へ連絡してください。修理を行わずに使用を続けると更なる深刻なダメージを被る恐れがあります。その状況で使用を続けた場合は、保証期間内でも保証外の対応となる場合があります。
9. アクセサリーやパーツは、メーカーが定めた製品をご使用ください。
10. 長期間使用しない場合や、雷が発生した時は電源アダプターを抜いてください。
11. 電源周りのトラブルや液体をこぼしてしまったとき、高い湿度にさらされたときは、販売店に相談してください。そのまま使用を続けたり、無理に自分で修理を試みないでください。
12. 地域の法令・条例に従ってご使用ください。
13. 設置について疑問がある場合は、販売店に相談してください。

安全上の重要事項

この度はSAMSON CR88Xシリーズをご購入いただき、誠にありがとうございます。ハンドマイク、ラベリアマイク、ヘッドセットマイク、ギター / ベース用と4つのラインナップを用意しています。本製品の性能を最大限に発揮させ、未永くお使いいただくため、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

CR88Xレシーバー・フロントパネル



① アンテナ

回転させて最適な受信状態に調整できます。通常は両方のアンテナを垂直に立てて使用ください。搬送するときはアンテナを内側にたたんでください。

② VOLUME

リアパネルの出力端子から出力される信号レベルを調整します。つまみが10の位置で標準レベルになります。

③ READY

RF信号を受信して、システムが使用可能な状態にあるとき緑色に点灯します。

④ PEAK

受信したオーディオ信号がオーバーロードになったとき赤色に点灯します。

⑤ LEDディスプレイ

使用中のチャンネルを表示します。

⑥ IR

トランスミッターにチャンネル情報を転送するときに使用する赤外線通信ポートです。

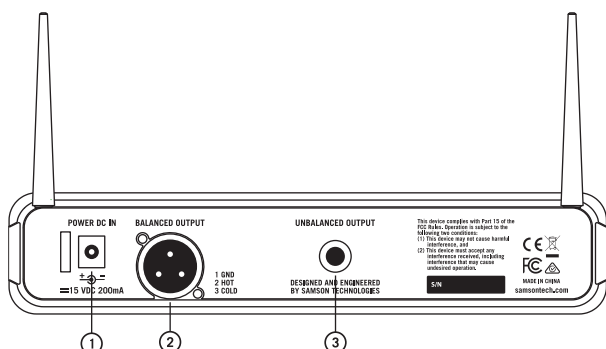
⑦ SCAN

2秒以上長押しするとスキャンモードに入り、LEDディスプレイが点滅します。レシーバーは最適なチャンネルを見つけるのにスキャンを開始します。スキャンが終わった後、10秒以上長押しするとLEDディスプレイがゆっくり点滅し、チャンネル情報をトランスミッターに転送します。

⑧ POWER

本製品の電源をON/OFFします。

CR88Xレシーバー・リアパネル



① POWER DC IN(パワーイン)

電源アダプターを接続します。

② BALANCED OUTPUT(バランス出力)

ロー・インピーダンス (600Ω) のXLR出力端子(バランス)です。ピン配列: ピン1(グラウンド)、ピン2(ホット)、ピン3(コールド)

③ UNBALANCED OUTPUT(アンバランス出力)

ハイ・インピーダンス (5kΩ) のフォン端子出力(アンバランス)です。ピン配列: チップ(ホット)、スリーブ(コールド)



左図のように、電源アダプターのケーブルを固定金具に通すと、抜けを防止することができます。

CB88ベルトパック型トランスミッター

① 入力端子(ミニXLR)

ヘッドセットマイクや楽器接続用のケーブルを接続します。

② ステータスLED

動作モードを表示します。

緑 …………… 正常動作

赤 …………… ミュート

緑点滅 …… バッテリー残量低下

③ MUTE

長押し: 電源をOFFにします

短く押す: ミュートします

④ ベルトクリップ

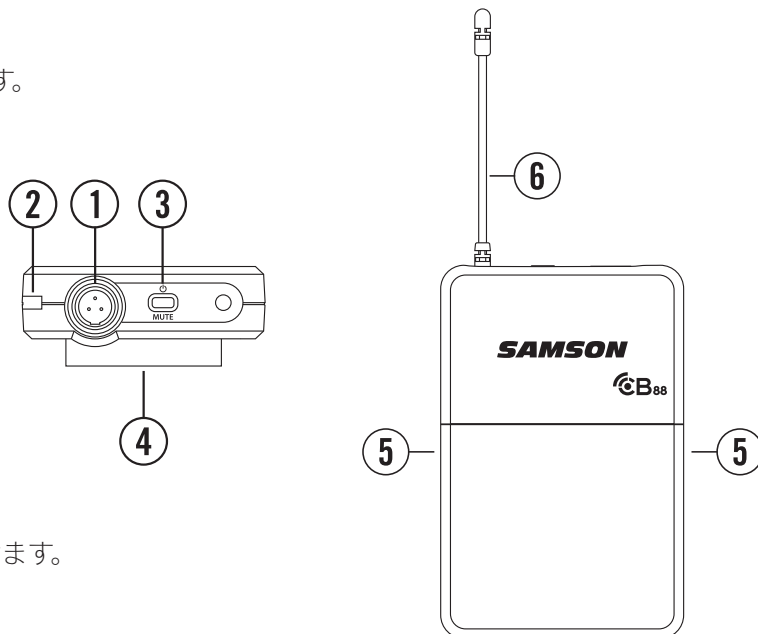
トランスミッターをベルトやギターストラップに取り付けます。

⑤ バッテリーカバー

バッテリーが収納されています。交換するときは両端のつめを押してカバーを開きます。

⑥ アンテナ

完全に伸ばした状態で使用してください。



⑦ GAIN

マイクや楽器の入力ゲインを調整します。付属のドライバーを使用してGAINを調整します。PEAKが頻繁に点灯する場合、強い音声を入力した時に一瞬点灯する程度にGAINを下げてください。

⑧ バッテリーホルダー

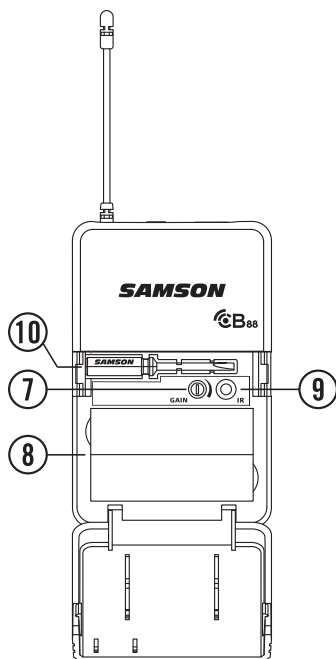
単3電池2本を使用します。極性に注意して装着してください。Ni-Cad電池を使用する際は、4時間以上の使用は避けてください。

⑨ IRレンズ

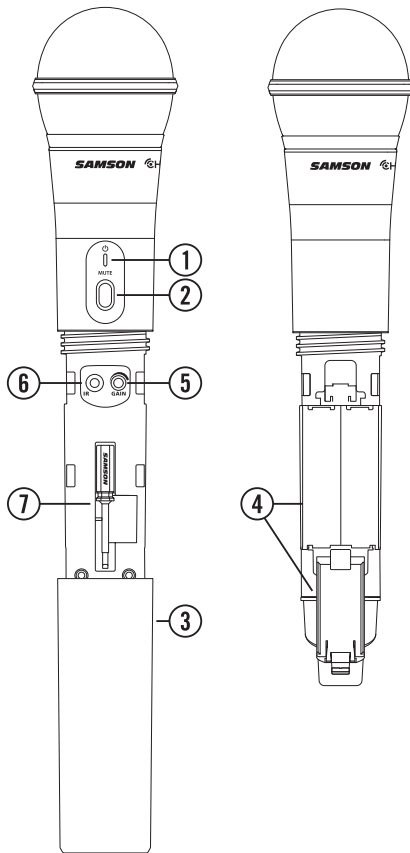
赤外線通信によりトランスミッターからのチャンネル設定を受信します。

⑩ ドライバー

GAIN調整に使用します。



CH88ハンドヘルド型トランスミッター



① ステータスLED

動作モードを表示します。

緑 ……………正常動作

赤 ……………ミュート

緑点滅…………バッテリー残量低下

② MUTE

長押し: 電源をOFFにします

短く押す: ミュートします

③ バッテリーカバー

回しながら外します。

④ バッテリーホルダー

単3電池2本を使用します。極性に注意して装着してください。Ni-Cad電池を使用する際、4時間以上の使用は避けてください。

⑤ GAIN

マイクや楽器の入力ゲインを調整します。付属のドライバーを使用してGAINを調整します。PEAKが頻繁に点灯する場合、強い音声を入力した時に一瞬点灯する程度にGAINを下げてください。

⑥ IRレンズ

赤外線通信によりトランスミッターのチャンネル設定を受信します。

⑦ ドライバー

GAIN調整に使用します。

クイックスタートガイド

ワイヤレスシステムが正しく動作するためには、レシーバーとトランスミッターが同じチャンネルにセットされている必要があります。

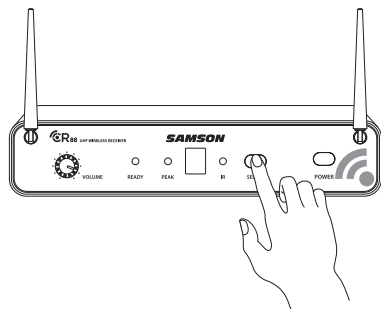
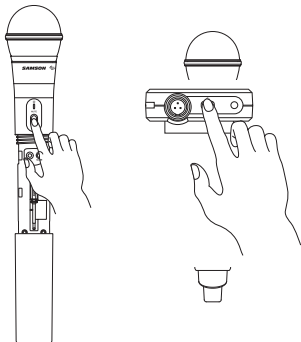
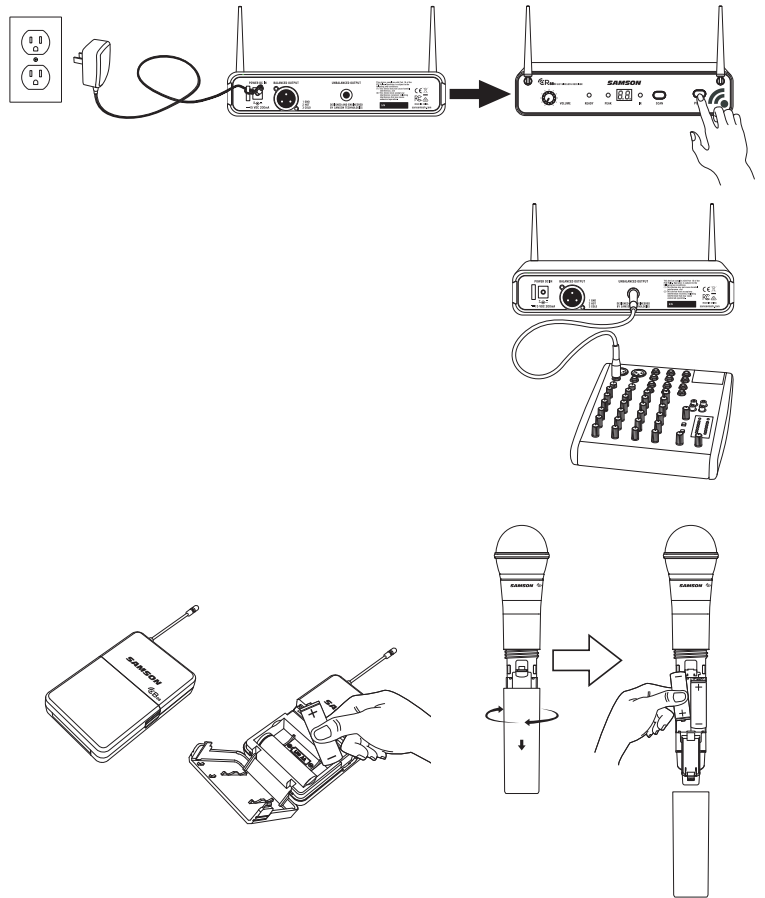
①CR88Xレシーバーを使用する場所に設置し、アンテナを垂直に立てます。レシーバーとトランスミッターの間には障害物がなく、見通しのよい状態にある必要があります。

②レシーバーの電源が切られた状態であることを確認し、付属の電源アダプターを接続してください。

③アンプやミキサーの音量が下がっている状態で、レシーバーの出力と機器のライン入力をケーブルで接続します。

④レシーバーのボリュームを絞った状態（反時計回り一杯に回す）で電源をONにしてください。

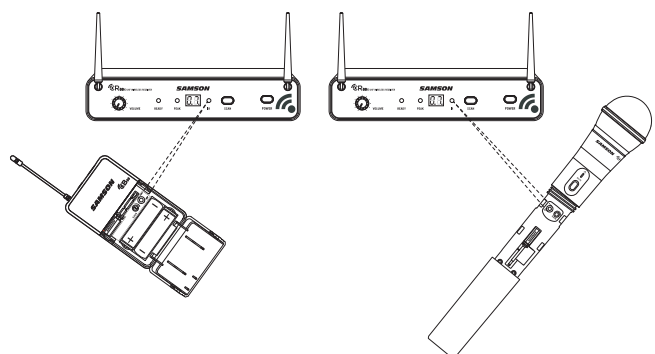
⑤単3電池2本をベルトパック型トランスミッター、またはハンドヘルド型トランスミッターに装着します。バッテリーカバーは開けたままにします。



⑥トランスミッターのMUTEスイッチを長押しして電源をONにすると、ステータスLEDが緑色に点灯します。

⑦レシーバーのSCANボタンを2秒以上長押しするとスキャンモードに入り、LEDディスプレイが点滅します。レシーバーは最適なチャンネルを見つけるためにスキャンを開始します。スキャンが終わった後、10秒以上長押しするとLEDディスプレイがゆっくり点滅し、チャンネル情報をトランスミッターに転送します。

※この時、トランスミッターのIRポートとレシーバーのIRポートを15～30cmの距離に近づけてください。



クイックスタートガイド

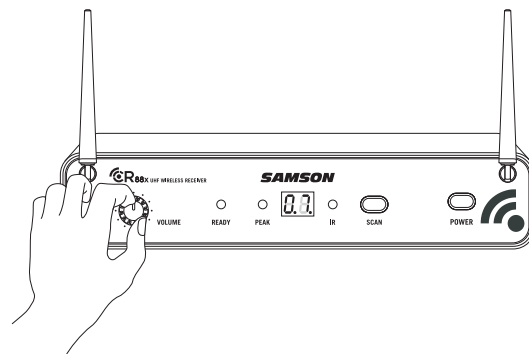
⑧赤外線通信が完了するとREADY LED(緑)が点灯します。

⑨接続している機器の電源を入れます。このとき、機器の音量は下げたままにしてください。

⑩ボリュームツマミを最大(10)まで回してください。これがユニティーゲイン(入力と出力が同じレベル)になります。

⑪マイクを使用して音を出し、アンプやミキサーの音量をゆっくり適切なレベルまで上げてください。

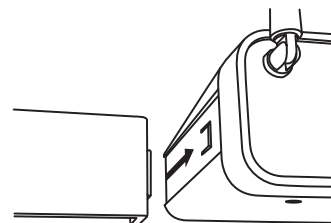
※音切れやノイズが発生する場合、使用しているチャンネルを変えてみてください



同じ周波数バンドで複数のシステムを使用する場合、それぞれのシステムは別々のチャンネルに設定する必要があります。

赤外線通信を行うとき、他のユニットとペアリングされないように、設定するユニット以外のトランスミッターのフタは閉め、距離を離してください。

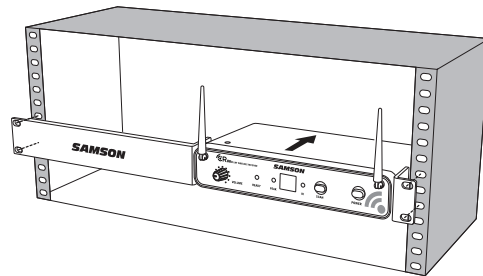
ラックマウント



レシーバーは付属のラックマウント金具を使用して19インチラックに取り付けることができます。

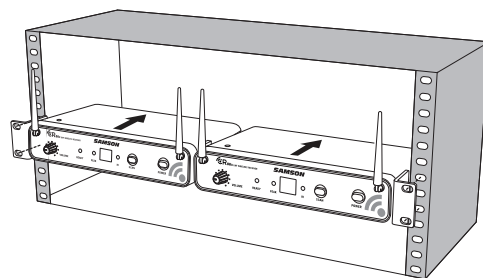
CR88X1台をラックマウントする場合

ロングとショート金具を1つずつ使用します。それぞれをロックするまで本体側面の溝にスライドして取り付けてください。



CR88X2台をラックマウントする場合

連結用アダプターを使用し、2台のレシーバーをつなげます。ショート金具を2つ使用します。それぞれをロックするまで本体側面の溝にスライドして取り付けてください。



仕様

※仕様は予告なく変更になる場合があります

システム

送受信距離	100 m(見通し)
周波数特性	50 Hz~15 kHz
T.H.D (Overall)	<1 %(@AF 1 kHz、RF 46 dBu)
ダイナミックレンジ	>100 dB A-weighted
SN比	>90 dB
動作周囲温度	-10 ~ +60 ℃
トーンキー周波数	35 kHz

ベルトパック・トランスミッター

入力端子	ミニXLR(3ピン)
入力インピーダンス	1 MΩ
入力ゲイン幅	38 dB
RFパワー	10 mW EIRP
電源	単3電池×2
電池寿命	8時間
寸法(H×L×D)	96.0×62.0×18.5 mm
質量	93 g

レシーバー

オーディオ出力レベル	+14 dB(アンバランス) +9 dB(バランス)
オーディオ出力インピーダンス	810 Ω(アンバランス) 240 Ω(バランス)
感度	-100 dBm / 30 dB SINAD(SN比)
イメージ周波数抑圧比	>50 dB
電源	15 VDC 200 mA
寸法(H×L×D)	210×125×44 mm
質量	450g

ハンドヘルド・トランスミッター

マイク	ダイナミックマイク
入力ゲイン幅	28 dB
RFパワー	10 mW EIRP
電源	単3電池×2
電池寿命	8時間
寸法(高さ×直径)	260×54 mm
質量	218 g

チャンネル表

CH	周波数	CH	周波数
0	806.125	15	808.375
1	806.250	16	807.750
2	806.625	17	807.875
3	806.750	18	808.250
4	807.625	19	809.125
5	807.250	20	808.750
6	806.375	21	809.000
7	806.500	22	808.500
8	806.875	23	808.625
9	807.500	24	809.375
10	808.125	25	809.625
11	807.125	26	809.500
12	807.000	27	808.875
13	807.375	28	809.250
14	808.000	29	809.750

※本機は手動で任意のチャンネルに設定することができません。チャンネル設定時はチャンネルスキャン機能を使用します。

複数台のCR88Xを組み合わせる場合、必ず1台ずつチャンネル設定を行ってください。

※他機種／他メーカー品との併用は電波干渉を起こす恐れがあります。

トラブルシューティング

音が出ない

- ・ トランスミッターとレシーバーの電源が入っていることを確認してください。
- ・ トランスミッターの電池が正しく装着されていることを確認してください。
- ・ トランスミッターがミュートされていないか確認してください。
- ・ レシーバーの電源アダプターが正しく接続されているか確認してください。
- ・ レシーバーの電源が入っていることを確認してください。
- ・ レシーバーのオーディオ出力が正しく接続されていることを確認してください。
- ・ レシーバーとトランスミッターの間に障害物がないか確認してください。
- ・ レシーバーのボリュームとトランスミッターのゲインを確認してください。
- ・ トランスミッターとレシーバーが同じチャンネルにセットされているか確認してください。
不明な場合は、チャンネル設定を再度行ってください。

音が歪む

- ・ レシーバーの出力レベル、トランスミッターの入力GAINを調整してください。
- ・ トランスミッターの電池をチェックしてください
- ・ 音源の音量を調整してください

音が途切れる

- ・ トランスミッターとレシーバーを近づけてください。アンテナの位置を調整してください
- ・ モバイルフォン、コードレス電話、照明機器、PC、金属製のものを遠ざけてください

トランスミッターの
電源が入らない

- ・ トランスミッターの電池を交換してください

ノイズや混信が
起こる

- ・ 複数のシステムを使用している場合、全てのシステムが違うチャンネル(周波数)を使用していることを確認してください